

Building the Future of Global Environment with Carbon Neutral LNG

カーボンニュートラルLNGのご紹介

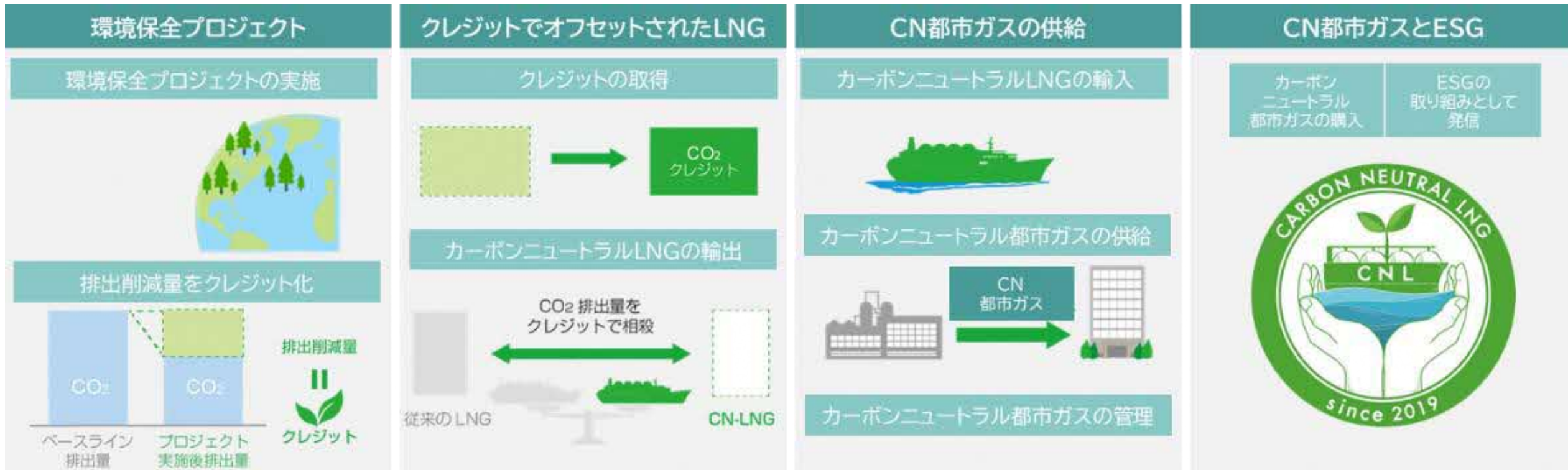


東京ガス株式会社 執行役員
カスタマー&ビジネスソリューションカンパニー
法人営業本部長 小西 雅子

カーボンニュートラルLNG（CNL）とは①

- 天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスと、CO₂クレジットを相殺すること（カーボンオフセット）によって、地球規模ではこの天然ガスを使用してもCO₂が発生しないとみなされるLNGです。

【カーボンニュートラルLNG・カーボンニュートラル都市ガスの仕組み】



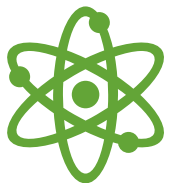
カーボンニュートラルLNG（CNL）とは②

- CO₂クレジットとは、森林保全等のプロジェクトによるCO₂削減もしくは吸収効果を認証したものです。
- 東京ガスのCNLに活用されているCO₂クレジットは、森林保全や植林プロジェクト由来の民間認証のクレジットです。
- 温室効果ガス排出削減・抑制に加え、副次的な効果(生物多様性保全や雇用創出等)も重視されている点が特徴です。

森林保全



植林



生物多様性
絶滅危惧種保護



貧困問題
雇用創出
医療と健康



飲料水
エネルギーの
安全



気候変動対策

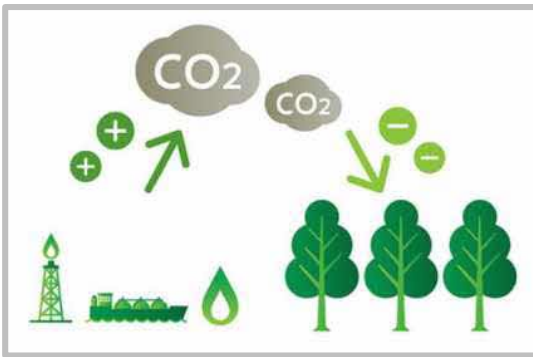
カーボンニュートラルLNGに取り組む理由

- 東京ガスグループは経営ビジョン「Compass2030」で、事業活動全体でお客さま先を含めて排出するCO₂をネット・ゼロにすることに挑戦することを掲げています。
- CO₂ネット・ゼロに向け、移行期間は「天然ガスによる低炭素化」を推進しながら、ガスも電力も脱炭素技術に強みをつくり、お客さま先での実装拡大を通じて脱炭素社会実現に貢献します。
- CNLは足元で実行可能なCO₂削減の有効な手段の一つとして、普及拡大に取り組んでいます。

東京ガスグループのカーボンニュートラルへの移行ロードマップ



カーボンニュートラルLNGのメリット



1 地球規模での温室効果ガス削減・排出抑制

- 足元から実行可能な熱分野の新たな脱炭素化オプション



2 国際社会への貢献

- 植林や森林保全をはじめ、様々な環境保全プロジェクトを通じた生物多様性の保護、新興国における人権の尊重や雇用創出など、SDGsへの貢献



3 ESG経営への活用

- CNLは、ESGにおける「E」の気候変動対策や「S」の社会貢献性を兼ね備えた商材
- CNLをエネルギー戦略や脱炭素ロードマップの中に位置付けて発信することで、ステークホルダーからの良い反応が期待できます。

カーボンニュートラルLNGの普及拡大にむけて

- 今後、更なるCNLの普及拡大を通じ、お客さまとともに地球規模での環境負荷低減に貢献してまいります。



1^mのCNLが、
世界を変える力になる。
地球環境の未来を創る。

